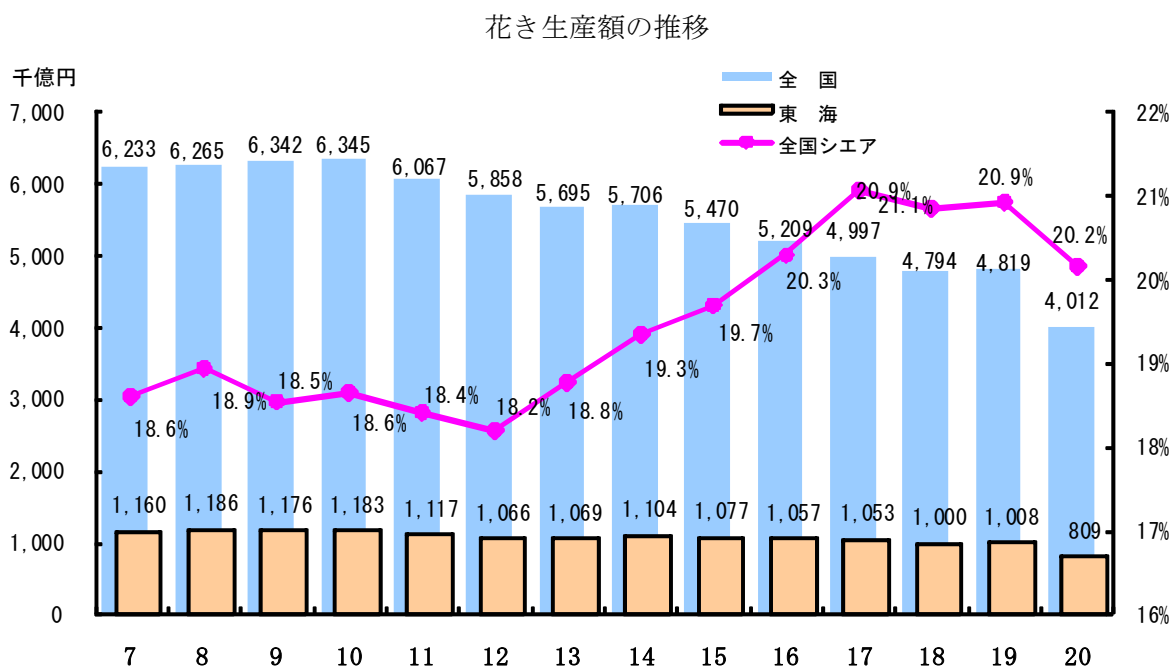


花き産業の概要

1. 花きの動向

(1) 生産の動向

- ① 花き産業は、生産から中間流通・加工・小売まで広がりを持って展開しており、うち花き農業の生産額は、順調に推移してきたものの、平成10年の6,345億円をピークに減少傾向に推移しており、平成20年には4,012億円となっている。なお、東海の花き生産額は809億円と、全国の2割を占めている。



資料：農林水産省統計部「生産農業所得統計」、生産流通振興課花き産業振興室「花木等生産状況調査」

- ② 花きの作付面積は、34.7千ha（全耕地面積の0.7%）で、花木類等の減少により、近年、全体としては減少傾向にある。

花き作付面積の推移

(単位：千ha)

区分	H2	7	12	13	14	15	16	17	18	19	20
花き作付面積	45.7	48.4	45.5	43.7	42.7	42.0	40.2	37.9	36.7	35.6	34.7
(全耕地面積に占める比率)	0.9%	1.0%	1.0%	1.0%	0.9%	0.9%	0.9%	0.8%	0.8%	0.8%	0.7%
切花類	16.6	19.0	19.7	19.4	19.1	18.7	18.3	17.9	17.5	17.2	16.8
鉢ものの類	1.7	1.9	2.2	2.1	2.2	2.2	2.2	2.1	2.1	2.0	2.0
花壇用苗ものの類	0.4	0.8	1.7	1.8	1.8	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.6
花木類	16.1	15.0	12.4	11.8	11.7	11.0	9.6	8.5	8.0	7.5	7.0
球根類	1.5	1.2	1.0	0.9	0.8	0.7	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6
芝	9.2	10.5	8.4	7.5	7.1	7.6	7.7	6.9	6.8	6.5	6.6
地被植物類	0.1	0.1	0.1	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
露地	10.9	11.2	11.4	11.2	11.4	10.7	10.4	10.2	10.0	-	-
施設	7.9	10.4	12.1	12.1	12.1	11.9	11.8	11.6	11.4	-	-

資料：農林水産省統計部「耕地及び作付面積統計」、「花き生産出荷統計」

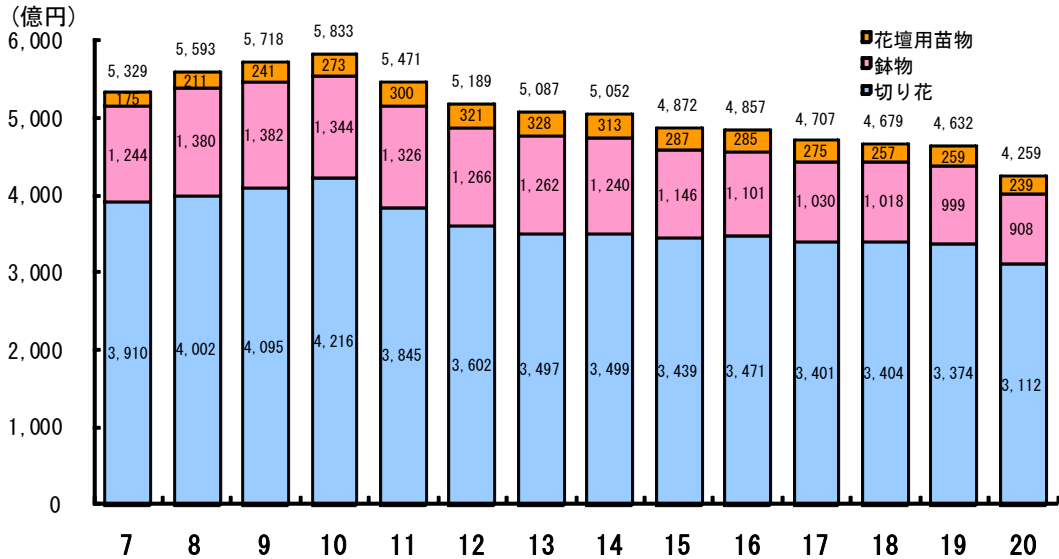
果樹花き課花き対策室「花き類の生産状況等調査」、「花木等生産状況調査」

注) 露地、施設の面積は、切花類、鉢ものの類及び花壇用苗ものの類の露地、施設面積の合計。

(2) 消費の動向

① 卸売市場における花きの卸売価額は、平成10年をピークに年々減少傾向にある。

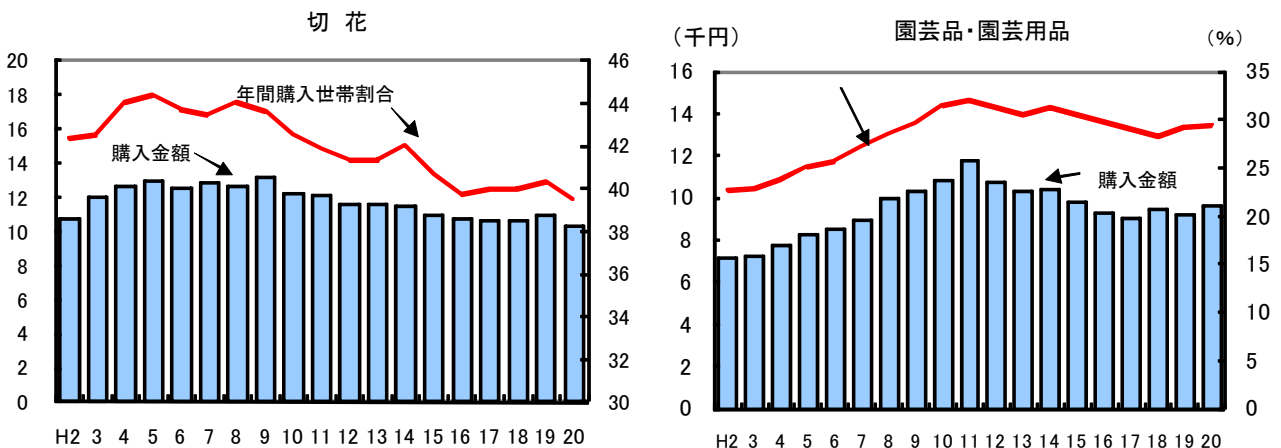
花きの卸売価額の推移



資料:農林水産省統計部「花き流通統計調査報告」

② 花きの1世帯当たりの購入金額及び年間購入世帯割合をみると、切り花では平成8年に年間購入世帯割合、9年に購入金額がそれぞれピークに、園芸品・園芸用品では11年をピークに減少傾向で推移していたものの、近年、切り花、園芸品・園芸用品ともに横ばいで推移している。なお、1年間に切り花及び園芸品・園芸用品を一度も購入したことの無い世帯の割合はそれぞれ6割と7割となっている。

花きの1世帯当たり購入金額及び年間購入世帯割合の推移



資料:総務省「家計調査年報」(農林漁家世帯を除く2人以上の世帯)

注:園芸品・園芸用品とは、鉢植えの植木、草花の種、肥料等年間購入世帯割合とは、1年間に1度でも購入のあった世帯の割合

2. 東海の花き産業

(1) 花き生産

- ① 東海の平成20年産の花き生産額は、809億円と全国の2割を占めている。花き類別にみると、球根類及び芝以外はそれぞれ全国の1割以上を占めており、特に、鉢もの類では3割を超えるている。また、中心となる愛知県では、花き全体及び切り花類、鉢もの類、花壇用苗物類の生産額が県別では、全国1位を誇っている。

花き類別の生産額（平成20年産）

(単位:億円、%)

	切花類	鉢もの類	花壇用苗物類	花木類	球根類	芝	地被植物	計
全国①	2,206	1,009	332	320	30	66	49	4,012
東海②	341	335	50	70	1	-	12	809
岐阜県	12 【38】	51 【4】	11 【8】	1 【21】	0 【15】	- 【-】	0 【13】	78 【15】
愛知県	320 【1】	255 【1】	30 【2】	46 【3】	- 【-】	- 【-】	8 【3】	659 【1】
三重県	9 【39】	29 【10】	9 【13】	22 【4】	1 【5】	- 【-】	4 【5】	75 【15】
② / ①	15.5	33.2	15.1	21.9	3.3	-	24.5	20.2

注意：下段【 】内は都道府県別の全国順位である。

資料：切り花類、鉢もの類、花壇用苗物類、球根類、芝は、農林水産省統計部「花き生産出荷統計」、花木類、地被植物類は、生産流通振興課花き産業振興室「花木等生産状況調査」

- ② 平成20年産の花き生産農家の生産規模を全国と比較すると、1戸当たりの作付(収穫)面積は、鉢もの類32.0a（同22.1a）、花壇用苗物類30.8a（同24.4a）のいずれも全国を上回っている。また、花き全体の1戸当たりの生産額は、7,999千円（同3,776千円）と全国の約2倍となっている。

1戸当たりの作付(収穫)面積及び生産額（平成19年産）

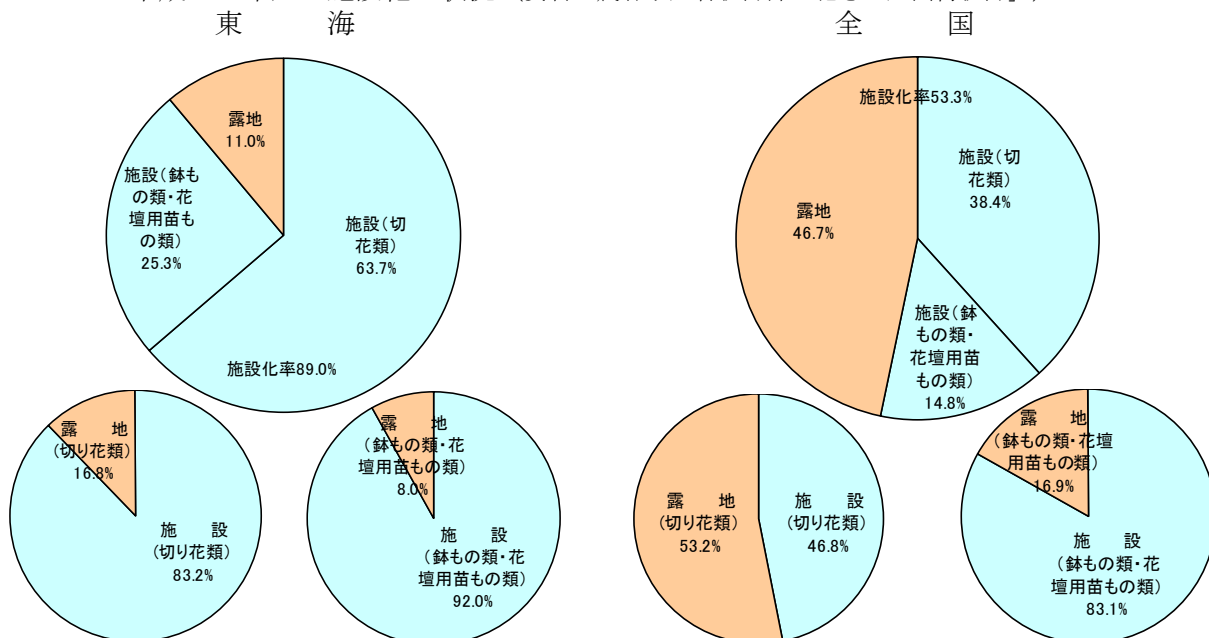
	切花類	鉢もの類	花壇用苗物類	花木類	球根類	芝	地被植物	計
全 国 農 家 数(戸)	66,800	8,880	6,710	15,705	1,580	5,836	729	106,240
面 積(ha)	16,840	1,963	1,640	6,983	567	6,553	136	34,682
生産額(億円)	2,206	1,009	332	320	30	66	49	4,012
1戸当たり面 積(a)	25.2	22.1	24.4	44.5	35.9	112.3	18.7	32.6
① 生産額(千円)	3,302	11,363	4,948	2,038	1,899	1,131	6,722	3,776
東 海 農 家 数(戸)	4,631	1,493	702	3,171	-	45	72	10,114
面 積(ha)	...	478	216	1,173	...	34	29	1,930
生産額(億円)	341	335	50	70	1	-	12	809
1戸当たり面 積(a)	...	32.0	30.8	37.0	-	75.6	40.3	19.1
② 生産額(千円)	7,363	22,438	7,123	2,208	-	16,667	7,999	
② / ① 面 積(%)	...	144.8	125.9	83.2	-	67.3	215.9	58.5
生産額(%)	223.0	197.5	144.0	108.3	-	0.0	248.0	211.8

資料：切り花類、鉢もの類、花壇用苗物類、球根類、芝の生産額は、農林水産省統計部「花き生産出荷統計」、花木類、芝の生産額以外は、地被植物類は、園芸課花き産業振興室「花木等生産状況調査」

③ 平成18年産の施設化率を全国と比較してみると、花き類（切り花類、鉢ものの類・花壇用苗物類）で89%（全国53.3%）となっており、分類別に、切り花類が87.8%（同46.8%）、鉢ものの類・花壇用苗物類が92.0%（同83.1%）と施設化が進んでいる。

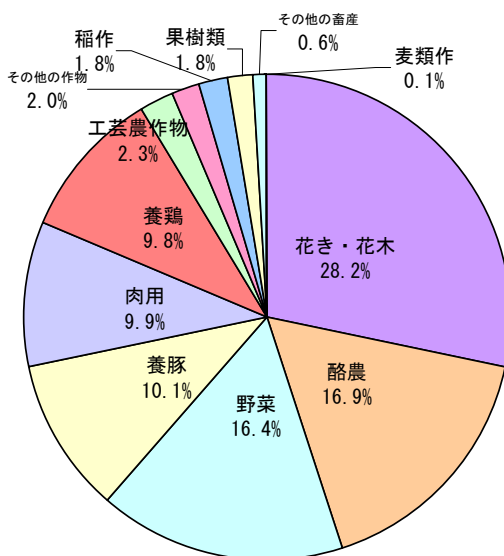
作業の集約化と花きの周年供給を図るためガラス温室・ハウス等の生産施設の整備が進んでいる。

平成18年産の施設化の状況（資料：農林水産省統計部「花き生産出荷統計」）



④ 愛知県の輪ギク、バラ、観葉植物、洋ラン、岐阜県のバラ、シクラメン、三重県の花木、洋ラン等の生産農家には、3千万円以上の販売農家が702戸（全国2,661戸（東海シェア26.4%））存在しており、東海地域における農産物販売額が3千万円以上の販売農家2,488戸の28%を占めている。

農産物販売額が1位の部門別販売農家のうち販売額3千万円以上の割合（東海）



資料：農林水産省「2000年世界農林業センサス」

(2) 消費の動向

- ① 県庁所在都市別1世帯当たりの年間購入金額をみると、切り花では、名古屋市が11,986円で全国11位、岐阜市13位、津市37位、園芸品・園芸用品では、津市が5,967円で全国10位、岐阜市26位、名古屋市36位となっており、全国有数の花き産地であるものの、購入金額は多いとはいえない。

県庁所在都市別1世帯当たりの支出金額及び順位(平成20年)
(単位:円)

切 花			園芸品・同用品		
1位	鳥 取	14,398	1位	甲 府	13,088
2位	福 島	14,646	2位	長 野	12,210
3位	和歌山	13,961	3位	福 島	11,934
4位	京 都	13,809	4位	山 形	11,702
5位	島 根	13,338	5位	奈 良	11,205
11位	名古屋	11,886	10位	津	5,967
13位	岐 阜	11,749	26位	岐阜	5,878
37位	津	8,527	36位	名古屋	6,679
	全 国	10,327		全 国	9,671

資料：総務省「家計調査速報」（農林漁家世帯を除く2人以上の世帯）

(3) 花きの流通

- ① 岐阜、愛知両県産の地域別出荷先割合をみると、切り花類では、関東への出荷が最も多く52%を占め、次いで東海へ25%、関東及び東海以外の地域へは2割程度となっている。また、鉢もの類及び花壇用苗物類では、東海への出荷が最も多くそれぞれ36%、68%を占め、次いで関東へ同33%、13%、近畿へ同16%、13%となっている。

岐阜県産の切り花類及び花壇用苗物類は、東海を中心に出荷され、特に、全国シェアの大きいポットローズ、サボテン等の小鉢を主体とする鉢もの類は、岐阜花き流通センター（北方町）に一元集荷して全国の市場に出荷されている。

愛知県産の輪ぎくに代表される切り花類及び観葉植物・洋ランを主体とする鉢もの類、花壇用苗物類のいずれも全国的な産地として、東海をはじめ、関東、東北、近畿を中心に出荷され、特に、鉢もの類は、愛知豊明花き地方卸売市場において、全国的な取引が展開されている。

花き類の地域別出荷量（平成19年産）

	北海道	東北	関東	北陸	東海	近畿	中国以西	合計
愛知切花計	4.9%	6.7%	53.2%	4.7%	24.2%	6.3%	0.0%	100.0%
輪ギク	3.7%	5.8%	60.7%	3.8%	20.7%	5.3%	-	100.0%
スプレイギク	9.5%	13.0%	44.5%	5.3%	17.1%	10.6%	-	100.0%
カーネーション	5.6%	5.5%	36.9%	7.1%	44.0%	0.8%	-	100.0%
バラ	8.1%	6.1%	41.0%	8.1%	26.6%	10.1%	-	100.0%
その他	4.3%	5.5%	39.1%	5.4%	36.3%	9.1%	0.2%	100.0%
岐阜切花計	-	0.0%	10.2%	5.6%	64.8%	18.6%	0.7%	100.0%
合計	4.8%	6.5%	52.0%	4.7%	25.3%	6.6%	0.0%	100.0%
愛知鉢物計	0.7%	1.4%	33.1%	3.7%	40.7%	16.6%	3.7%	100.0%
観葉植物	1.5%	2.6%	37.0%	3.8%	35.3%	15.3%	4.6%	100.0%
洋ラン	1.2%	2.1%	37.7%	1.7%	42.9%	10.4%	4.1%	100.0%
その他	0.2%	0.5%	29.8%	4.0%	44.1%	18.4%	3.0%	100.0%
岐阜鉢物計	2.2%	1.3%	16.5%	1.8%	19.7%	13.6%	12.3%	100.0%
合計	1.3%	1.4%	27.0%	3.0%	33.0%	15.5%	6.9%	100.0%
愛知花壇用苗物	0.2%	0.3%	13.8%	2.2%	73.1%	9.1%	1.3%	100.0%
岐阜花壇用苗物	1.9%	1.0%	8.1%	1.3%	53.8%	14.5%	6.3%	100.0%
合計	0.6%	0.5%	12.3%	2.0%	67.8%	10.6%	2.7%	100.0%

資料：岐阜県農政部農産園芸課「岐阜県の花き生産の概要」、愛知県「花き生産実績」

- ② 東海地域における花きの流通拠点である卸売市場をみると、名古屋市を中心に切り花類及び鉢もの類等の集散基地となっている。

切り花類では、流通体制の整備強化が大きな課題となっており、卸売市場における品質管理の高度化、複数の卸売市場の統合による集荷・販売力の強化を図るため、名古屋市港区に愛知名港花き地方卸売市場の整備され平成22年3月末に開場した。一方、名古屋市松原地区においても引き続き地方卸売市場が開設されており、東海地域を中心に出荷されている。

また、鉢もの類では、平成8年3月豊明市に開設した愛知豊明花き地方卸売市場が中心となって全国から鉢ものが集まり、全国各地へ出荷されている。

3. 花きの施策

最近の、花きの需要及び国内生産は微減傾向にある一方、外国産の品質向上、安定的な供給ニーズを背景に切り花を中心に輸入の増加が継続している。また、今後も人口構成やライフスタイルの変化、卸売市場法の改正、ITの浸透、品質保持技術・ノウハウの向上等により、花き産業のあり方も変化することが予想されたため、「花き産業振興方針」の見直しを行い、平成22年4月9日に公表したものである。

新たな「花き産業振興方針」では、需要の低迷等の課題を解決するため、消費者に対する正しい知識の普及、新しい需要の創出、ニーズに対応した生産・流通・販売を図ることとしている。